

地質・土質調査電子納品要領要領（案）（平成 31 年 3 月版）の正誤内容

ページ・行

誤

正

p. 2-4
表 4-1
地 質 情 報 管
理 項 目

4 地質情報管理ファイル					
4-1 地質情報管理項目					
地質情報管理ファイル(BORING.XML)に記入する地質情報管理項目は、表 4-1 による。					
表 4-1 地質情報管理項目					
カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記述する数
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領の版（「 <u>農村振興土木 201904-01</u> 」で固定）を記入する。（分野：農村振興土木、西暦年：2019、月：04、版：01）	全角文字 半角英数字	30	◎1回
ボーリング情報	ボーリング名	業務で使用されたボーリング名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	ボーリング通番	ボーリング総数に対するボーリングの通し番号を記入する。	半角数字	4	◎N回
	経度	調査位置の経度を度、分、秒で記入する。秒については小数点以下 4 桁まで記入する。西経の場合は度の頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。	度	4	◎N回
			分	2	
			秒	8	
	緯度	調査位置の緯度を度、分、秒で記入する。秒については小数点以下 4 桁まで記入する。南緯の場合は度の頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。	度	4	◎N回
			分	2	
			秒	8	
	測地系	日本測地系、世界測地系（JGD2000）、世界測地系（JGD2011）の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系（JGD2000）は「01」、世界測地系（JGD2011）は「02」を記入する。	半角数字	2	◎N回
	孔口標高	ボーリング調査孔の標高(TP.m)を小数点以下 2 桁まで記入する。	半角数字 ・(HYPHEN-MINUS)	8	◎N回
	総削孔長	ボーリングの全長(m)を小数点以下 2 桁まで記入する。	半角数字	8	◎N回
	柱状図区分	ボーリング柱状図様式の区分(岩盤、土質(オールコア用)、土質(標準貫入試験用)、地すべり(オールコア用)、地すべり(標準貫入試験用)、その他)(土質・岩盤・その他)を記入する。	全角文字	13	◎N回
ボーリング交換用データ	ボーリング交換用データ	ボーリング交換用データファイル名(括弧子含む)を記入する。	半角英数字 大文字	11 固定	◎N回
		ボーリング交換用データファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	電子柱状図	電子柱状図ファイル名(括弧子含む)を記入する。	半角英数字 大文字	11 固定	◎N回
		電子柱状図ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	電子簡略柱状図	電子簡略柱状図ファイル名(括弧子含む)を記入する。	半角英数字 大文字	11 固定	◎N回
		電子簡略柱状図ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	ボーリングコメント		ボーリングごとにコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127 △N回
	コメント		受注者側でボーリングフォルダに付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127 △N回
	ソフトウェア用 TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。	全角文字 半角英数字	64 △N回

◎:必須入力項目、○:原則的に入力しなければならない項目、△:任意入力項目
全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字の文字数に相当する。

4 地質情報管理ファイル					
4-1 地質情報管理項目					
地質情報管理ファイル(BORING.XML)に記入する地質情報管理項目は、表 4-1 による。					
表 4-1 地質情報管理項目					
カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記述する数
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領の版（「 <u>農村振興土木 201903-01</u> 」で固定）を記入する。（分野：農村振興土木、西暦年：2019、月：03、版：01）	全角文字 半角英数字	30	◎1回
ボーリング情報	ボーリング名	業務で使用されたボーリング名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	ボーリング通番	ボーリング総数に対するボーリングの通し番号を記入する。	半角数字	4	◎N回
	経度	調査位置の経度を度、分、秒で記入する。秒については小数点以下 4 桁まで記入する。西経の場合は度の頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。	度	4	◎N回
			分	2	
			秒	8	
	緯度	調査位置の緯度を度、分、秒で記入する。秒については小数点以下 4 桁まで記入する。南緯の場合は度の頭文字に「(HYPHEN-MINUS)」を記入する。	度	4	◎N回
			分	2	
			秒	8	
	測地系	日本測地系、世界測地系（JGD2000）、世界測地系（JGD2011）の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系（JGD2000）は「01」、世界測地系（JGD2011）は「02」を記入する。	半角数字	2	◎N回
	孔口標高	ボーリング調査孔の標高(TP.m)を小数点以下 2 桁まで記入する。	半角数字 ・(HYPHEN-MINUS)	8	◎N回
	総削孔長	ボーリングの全長(m)を小数点以下 2 桁まで記入する。	半角数字	8	◎N回
	柱状図区分	ボーリング柱状図様式の区分(岩盤、土質(オールコア用)、土質(標準貫入試験用)、地すべり(オールコア用)、地すべり(標準貫入試験用)、その他)(土質・岩盤・その他)を記入する。	全角文字	13	◎N回
ボーリング交換用データ	ボーリング交換用データ	ボーリング交換用データファイル名(括弧子含む)を記入する。	半角英数字 大文字	11 固定	◎N回
		ボーリング交換用データファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	電子柱状図	電子柱状図ファイル名(括弧子含む)を記入する。	半角英数字 大文字	11 固定	◎N回
		電子柱状図ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	電子簡略柱状図	電子簡略柱状図ファイル名(括弧子含む)を記入する。	半角英数字 大文字	11 固定	◎N回
		電子簡略柱状図ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	ボーリングコメント		ボーリングごとにコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127 △N回
	コメント		受注者側でボーリングフォルダに付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127 △N回
	ソフトウェア用 TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。	全角文字 半角英数字	64 △N回

◎:必須入力項目、○:原則的に入力しなければならない項目、△:任意入力項目
全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字の文字数に相当する。

ページ・行

誤

P3-17
表 3-1
レイヤ構成
レイヤ名

		岩級区分	境界線、等高線			-RMS
			値、名称、記号(文字列)			-RMSF
			分布(着色、模様)			-PHYS
		物性値区分 試験・計測結果	境界線、等値線等			-PHYF
			名称、記号(文字列)			*2
		その他 ^{*2}	分布(着色、模様)			*2
	境界線、名称、記号等		-STR			
	施設、対策工形状 (主構造物) ^{*3}	着色、模様	-TTL			
			-FRAM			
			-LINE			
			-TXT			
	凡例	凡例図枠				-HCH
		区切り線、罫線				-DCR
		文字列				-COM
着色、模様						
注記、コメント	注記、コメント					

注)*1 地層・岩体分布を示す着色、模様の種類は受発注者間協議の上、決定する。

*2 その他特定の主題や目的に応じて作成される要素を格納するレイヤについては、レイヤ命名規則に従い、受発注者間協議の上、適宜設定する。ただし、責任主体、図面オブジェクトは固定とし、作図要素のみを新設し、「S-BGD-○○○○」とする。また、新設するレイヤ名称に、既に別の意味で用いられているレイヤ名称を用いてはならない。

*3施設・対策工形状の記載方法は電子化図面データの作成要領(案)に従うことを原則とする。(例:主構造物はレイヤとして、S-STRを使用する。)

正

		岩級区分	境界線、等高線			-RMS
			値、名称、記号(文字列)			-RMSF
			分布(着色、模様)			-PHYS
		物性値区分 試験・計測結果	境界線、等値線等			-PHYF
			名称、記号(文字列)			*2
		その他 ^{*2}	分布(着色、模様)			*2
	境界線、名称、記号等		-STR			
	施設、対策工形状 (主構造物) ^{*3}	着色、模様	-TTL			
			-FRAM			
			-LINE			
			-TXT			
	凡例	凡例図枠				-HCH
		区切り線、罫線				-DOC
		文字列				
着色、模様						
注記、コメント	注記、コメント					

注)*1 地層・岩体分布を示す着色、模様の種類は受発注者間協議の上、決定する。

*2 その他特定の主題や目的に応じて作成される要素を格納するレイヤについては、レイヤ命名規則に従い、受発注者間協議の上、適宜設定する。ただし、責任主体、図面オブジェクトは固定とし、作図要素のみを新設し、「S-BGD-○○○○」とする。また、新設するレイヤ名称に、既に別の意味で用いられているレイヤ名称を用いてはならない。

*3施設・対策工形状の記載方法は電子化図面データの作成要領(案)に従うことを原則とする。(例:主構造物はレイヤとして、S-STRを使用する。)

ページ・行	誤	正
p. 付 5-120 5 行目	<!ELEMENT ボーリング情報 (標題情報, コア情報)>	<!ELEMENT ボーリング情報 (<u>基礎情報</u> , 標題情報, コア情報)>
p. 付 5-121 35 行目	<!ELEMENT 調査会社_コア鑑定者 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 調査会社_コア鑑定者 <u>氏名</u> (#PCDATA)>
p. 付 5-121 37 行目	<!ELEMENT 調査会社_ボーリング責任者 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 調査会社_ボーリング責任者 <u>氏名</u> (#PCDATA)>
p. 付 5-122 29, 30 行目	風化の程度区分*, 熱水変質の程度区分判定表*, 熱水変質の程度区分*, <u>破碎度*, 破碎度判定表*,</u>	風化の程度区分*, 熱水変質の程度区分判定表*, 熱水変質の程度区分*, <u>破碎度判定表*, 破碎度*,</u>
p. 付 5-123 20 行目	貫入試験_0_100 貫入量?, 標準貫入試験_10_200 打撃回数?, 標準貫入 試験_10_200 貫入量?,	貫入試験_0_100 貫入量?, 標準貫入試験_100_200 打撃回数?, 標準貫入 試験_100_200 貫入量?,
p. 付 5-128 10 行目	況?, 孔内水位_孔内水位, <u>孔内水位_水位種別コード?</u> , 孔内水位_水位種 別備考?)>	況?, 孔内水位_孔内水位, 孔内水位_水位種別備考?)>
p. 付 5-128 15 行目	<!ELEMENT 孔内水位_孔内水位 (#PCDATA)> <u><!ELEMENT 孔内水位_水位種別コード (#PCDATA)></u> <!ELEMENT 孔内水位_水位種別備考 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 孔内水位_孔内水位 (#PCDATA)> <!ELEMENT 孔内水位_水位種別備考 (#PCDATA)>
p. 付 5-133 41~45 行目	</エンジン> <櫓種類>	</エンジン> <u><ポンプ></u> <u><ポンプ_名称>△△△△</ポンプ_名称></u> <u><ポンプ_能力></ポンプ_能力></u> <u><ポンプ_単位></ポンプ_単位></u> <u></ポンプ></u> <櫓種類>

ページ・行	誤	正
p. 付 5-152 53 行目	<孔内水位_孔内水位></孔内水位_孔内水位> <u><孔内水位_水位種別コード>91</孔内水位_水位種別コード></u> <孔内水位_水位種別備考>水位無し</孔内水位_水位種別備考>	<孔内水位_孔内水位></孔内水位_孔内水位> <孔内水位_水位種別備考>水位無し</孔内水位_水位種別備考>
p. 付 5-152 60 行目	<孔内水位_孔内水位>5.05</孔内水位_孔内水位> <u><孔内水位_水位種別コード>13</孔内水位_水位種別コード></u> <孔内水位_水位種別備考>清水位、被圧</孔内水位_水位種別備考>	<孔内水位_孔内水位>5.05</孔内水位_孔内水位> <孔内水位_水位種別備考>清水位、被圧</孔内水位_水位種別備考>
p. 付 5-160 12, 13 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>番号>	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>番号>
p. 付 5-160 22, 23 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>方法コード>1</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>方法コード>	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>方法コード>1</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>方法コード>
p. 付 5-160 40, 41 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>番号>0002</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>番号>	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>番号>0002</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>番号>
p. 付 5-160 50, 51 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>方法コード>2</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>方法コード>	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>方法コード>2</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>方法コード>
p. 付 5-161 5, 6 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>試験</u>番号>	<トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層_<u>検層</u>番号>
p. 付 5-161 27, 28 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>試験</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>試験</u>番号>	<トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>検層</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>検層</u>番号>
p. 付 5-161 49, 50 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>試験</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>試験</u>番号>	<トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>検層</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>検層</u>番号>
p. 付 5-162 8, 9 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>試験</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>試験</u>番号>	<トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>検層</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>検層</u>番号>
p. 付 5-162 30, 31 行目	<トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>試験</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>試験</u>番号>	<トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>検層</u>番号>0001</トレーサーによる地下水流動層検層詳細データ_<u>検層</u>番号>
p. 付 7-123 ページ下から 3 行目	<!ELEMENT 試験条件 (ひずみ速度?, 荷重計 No?, 荷重計容量?, <u>校正</u>係数 K?)>	<!ELEMENT 試験条件 (ひずみ速度?, 荷重計 No?, 荷重計容量?, <u>校正</u>係数 K?)>
p. 付 7-124 2 行目	<!ELEMENT <u>校正</u>係数 K (#PCDATA)>	<!ELEMENT <u>校正</u>係数 K (#PCDATA)>
p. 付 7-124 12 行目	<!ELEMENT 含水比 (容器<u>番号</u>?, ma?, mb?, mc?, 含水比 w?)>	<!ELEMENT 含水比 (容器<u>No</u>?, ma?, mb?, mc?, 含水比 w?)>

ページ・行	誤	正
p. 付 7-158 ページ下から 10 行目	圧密過程_基底応力, 圧密過程_体積変化?, 圧密過程_体積?, 圧密過程_軸変位量?, 圧密過程	圧密過程_基底応力, 圧密過程_体積変化 <u>量</u> ?, 圧密過程_体積?, 圧密過程_軸変位量?, 圧密過程
p. 付 7-184 17 行目	載荷段 <u>回</u> 数?)>	載荷段 <u>階</u> 数?)>
p. 付 7-184 22 行目	<!ELEMENT 載荷段 <u>回</u> 数 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 載荷段 <u>階</u> 数 (#PCDATA)>
p. 付 7-226 26 行目	<!ELEMENT 試料準備 (試料の準備方法, 空気乾燥前含水比?, 試料調整後 <u>の</u> 含水比?, 土質	<!ELEMENT 試料準備 (試料の準備方法, 空気乾燥前含水比?, 試料調製後含水比?, 土質
p. 付 7-226 30 行目	<!ELEMENT 試料調整後 <u>の</u> 含水比 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 試料調製後含水比 (#PCDATA)>
p. 付 7-226 40 行目	<!ELEMENT モールド (モールド内径?, モールド高さ?, モールド <u>容積</u> ?)>	<!ELEMENT モールド (モールド内径?, モールド高さ?, モールド <u>容量</u> ?)>
p. 付 7-226 44 行目	<!ELEMENT モールド <u>容積</u> (#PCDATA)>	<!ELEMENT モールド <u>容量</u> (#PCDATA)>
p. 付 7-234 17, 18 行目	状況?, シールの方法?, 刃先部シール <u>長さ</u> ?, 上部シール <u>長さ</u> ?, サンプリングにおける異常の <u>記録</u> *, 凍結処理の記録?, 土質名称?, 現場での保管方法?, 試料の輸送方法_梱包?, 試料	状況?, シールの方法?, 刃先部シール <u>厚さ</u> ?, 上部シール <u>厚さ</u> ?, サンプリングにおける異常の <u>記載</u> *, 凍結処理の記録?, 土質名称?, 現場での保管方法?, 試料の輸送方法_梱包?, 試料
p. 付 7-234 25~27 行目	<!ELEMENT 刃先部シール <u>長さ</u> (#PCDATA)> <!ELEMENT 上部シール <u>長さ</u> (#PCDATA)> <!ELEMENT サンプリングにおける異常の <u>記録</u> (#PCDATA)>	<!ELEMENT 刃先部シール <u>厚さ</u> (#PCDATA)> <!ELEMENT 上部シール <u>厚さ</u> (#PCDATA)> <!ELEMENT サンプリングにおける異常の <u>記載</u> (#PCDATA)>
p. 付 7-243 11 行目	<!ELEMENT せん断強さ (せん断強さ_測定の種類, 最大荷重, 最大トルク?, せん断強さ_	<!ELEMENT せん断強さ <u>の算出</u> (せん断強さ_測定の種類, 最大荷重, 最大トルク?, せん断強さ_
p. 付 7-245 ページ下から 10 行目	(3) 孔内載荷試験データ (B <u>1421</u> _04. DTD) の定義内容	(3) 孔内載荷試験データ (B <u>1531</u> _04. DTD) の定義内容

ページ・行	誤	正
p. 付 7-270 10 行目	直線勾配法_ <u>上部</u> 離隔長 L2?, 直線勾配法_試験区間の孔径?, 直線勾配法_測定パイプ内径?	直線勾配法_ <u>下部</u> 離隔長 L2?, 直線勾配法_試験区間の孔径?, 直線勾配法_測定パイプ内径?,
p. 付 7-270 23 行目	<!ELEMENT 直線勾配法_ <u>上部</u> 離隔長 L2 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 直線勾配法_ <u>下部</u> 離隔長 L2 (#PCDATA)>
p. 付 7-271 17 行目	量?, 定常法_天候?, 定常法_管口の高さ?, 定常法_上部離隔長 L1?, 定常法_ <u>上部</u> 離隔長 L2?	量?, 定常法_天候?, 定常法_管口の高さ?, 定常法_上部離隔長 L1?, 定常法_ <u>下部</u> 離隔長 L2?
p. 付 7-271 30 行目	<!ELEMENT 定常法_ <u>上部</u> 離隔長 L2 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 定常法_ <u>下部</u> 離隔長 L2 (#PCDATA)>
p. 付 7-280 11 行目	<!ELEMENT 電気抵抗測定_測定_ <u>測定</u> 経過時間 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 電気抵抗測定_測定_経過時間 (#PCDATA)>
p. 付 7-280 12 行目	<!ELEMENT 電気抵抗測定_測定_ <u>測定</u> 測定値 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 電気抵抗測定_測定_ <u>観測値</u> (#PCDATA)>
p. 付 7-280 13 行目	<!ELEMENT 電気抵抗測定_測定_ <u>測定</u> 変化量 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 電気抵抗測定_測定_変化量 (#PCDATA)>
p. 付 7-291 6 行目	<u><!-- ***** *****--></u>	<u><!-- 試験結果_有効注水圧力水頭 試験結果_有効注水圧力水頭_低 圧側 MPa → 試験結果_有効注水圧力水頭_低圧側 に変更 --> <!-- 試験結果_有効注水圧力水頭 試験結果_有効注水圧力水頭_高 圧側 MPa → 試験結果_有効注水圧力水頭_高圧側 に変更 --> <!-- 試験結果_測定注水流量 試験結果_測定注水流量_低圧側 MPa → 試験結果_測定注水流量_低圧側 に変更 --> <!-- 試験結果_測定注水流量 試験結果_測定注水流量_高圧側 MPa → 試験結果_測定注水流量_高圧側 に変更 --></u>
p. 付 7-327 1～3 行目	<u><!ELEMENT 平均値_含水比 (#PCDATA)></u> <!ELEMENT 湿潤密度 (#PCDATA)> <!ELEMENT 乾燥密度 (#PCDATA)>	<!ELEMENT 湿潤密度 (#PCDATA)> <!ELEMENT 乾燥密度 (#PCDATA)>